

就任のご挨拶

新会長 星野千里



最近感心のある言葉に「人の百歩より百人の一歩」というお互いが助け合いのなかで、社会生活を営んで行こうという姿勢に感銘しています。この言葉を噛みしめるとき、私は次のように思慮いたしました。

申すまでもなく、行政の

最大の目的は「村民の公共の福祉増進」にあります。社会福祉協議会は民間の立場で、この目的に向かって進んで行かなければならぬと想うとき、行政と社協は二人三脚となつて、本目的に向かつて行かなければならぬと確信しています。

片品村にあつては、片品村地域福祉（活動）計画の基本理念「誰もが安心して

暮らす輝く村づくり」が平成二十五年からスタートし、今年で二年目を迎えました。大切な基本目標として、
①ふれあいの村づくり
②笑顔でつなぐ村づくり
③学んで創ろう
元気な村づくり
④安心安全な村づくり

これら四つの目標に向かつて、全村民がこそつて明るい地域福祉実現のために、頑張つて行こうではあります

とか。

私、星野千里も会長の立場から、先頭に立つて頑張る所存ですので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

退任のご挨拶

前会長 飯塚美明



私は去る5月29日の理事

会で、片品村社会福祉協議会会長を辞任しました。在任中は大変お世話になりました。

さて今年の春、日本創成会議が東京圏（1都3県）の急激な高齢化に警鐘を鳴らす推計を公表しました。

『75歳以上の高齢者が2025年までに全国で533万人増加する。団塊の世代がこの年齢層になるためだが、東京圏にはその3分の1の175万人が集中・増加するため、今後十年で介護需要が45%増え、13万人分の介護施設の不足が予想される。』

一方、群馬県年齢別人口調査結果（平成26年10月1日現在）によると、片品村の人口は4481人、65歳以上が33.7%

との公表です。

片品村は平成24年に第5期介護保険事業計画の策定にあたり、“後期高齢者の増加、高齢化率の上昇により、介護を必要とする高齢者の増加が見込まれるが、要支援・要介護状態となる前からの「介護予防の推進」「地域包括ケア体制の強化」「地域における高齢者の見守り体制の構築」等の対策が求められている”とありました。社会福祉協議会の役割が益々重要になります。

高齢者が住み慣れた所で心豊かに安心して暮らせるよう、関係する方々が力を合わせ、取り組んでくださりますようお願いし、退任の挨拶いたします。